

第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 総評 プロフェッショナル部門 - 2 次審査

●審査員 A

作品を表現する為に全体の流れや時間を創るという意識など、その為にピアノを扱う力が必要だと気が付く機会になっていると思う。

●審査員 B

ソナタはショパン作品の中でも最も複雑な曲ですが、全体の構造を音楽的に筋の通ったものにすることがどれほど難しくても、ショパンが「オペラティックな作曲家である」という最も重要な原則を忘れないでください。できる限りメロディーを「歌う」ことを心がけてください。みなさんがゆっくり休めるように祈っています。これまで大変努力されてきたことに敬意を表したいと思います、お疲れ様でした！

●審査員 C

入賞した 4 名にはコンチェルトをがんばって欲しい。

●審査員 D

難しい部門ではありますがソナタはショパンのあらゆる要素を含んでいるので全員の方が未消化でした。技術的には（指を動かす）充分なので、時間をかけて勉強してほしいと思います。何度も挑戦していくことが望ましい。ショパンの繊細なニュアンス、色彩、ルバートの仕方など研究して美しいうたを味わえるように。

●審査員 E

- ・指先からの歌うことのできるニュアンスあるタッチを望みます。
- ・体からの響きも感じた腕の使い方豊かな音色がほしい。
- ・和音のバランス、一番美しい響きを探して下さい。
- ・力を出す *f* ではなく豊かな響きを色彩感を持って奏でてほしい。
- ・練習通りのタイミングで弾くばかりでなくホールの響きからも音楽を感じて奏でてほしい。

●審査員 F

- ・ソナタの構築を今一度学び、演奏表現につなげるべく努力して参りましょう。
- ・楽章間の間も表現しましょう。
- ・指先の圧をコントロールしてほしいです。多彩なタッチを目指して下さい。軽やかなパッセージがあっても、フルコンの鍵盤の深いタッチがないとホールによい音がひびきません。
- ・和声の変化に細やかに反応して弾きたいですね。そのハーモニーの持つ役割、パワーを心から感じ、ショパンの和声を理解して下さい。
- ・ショパンのソナタは生涯を通じて勉強していく作品です。皆さんのさらなる精進と飛躍を願い、期待しております。